

歴史と文教の城下町



広報

たかなべ

2020

5

No.424





地域防災の要 消防団

消防団は、普段はさまざまな仕事に就いている地域の人たちが、火災・風水害・震災時などに消防団員となり消防活動を行う非常時の消防機関です。その地域に住んでいたり、勤務しているからこそ分かることを生かし、地域に密着した活動を行っています。

地域にとって重要な存在である消防団ですが、団員数は年々減少しており、地域防災力の低下が危惧されています。その状況を踏まえ、町では、機能別消防団員（特定の消防団活動や時間の許す範囲での活動を行う消防団員）の制度を拡充したり、女性部を創設したりするなどして、消防団員の加入促進の取り組みを行っています。

人口減少による人手不足や増加する災害などへ対応するためにも、今後ますます地域を守る消防団の重要性が再認識されています。地域の皆さんの温かい応援をお願いします。

消防団の仕事



訓練

火災消火の操作の習得を目指し、平時からポンプ訓練を行っています。また、日々技術の向上に努め、年に一度操法大会で各部が技術を競い合います。

その他にも、災害現場での後方支援や負傷者の応急救護処置などにも対応できるよう研修会を開くなど、防火防災訓練にも力を入れています。



災害時

災害発生時には、災害現場の消火をはじめ怪我人の救助・救出、警戒巡視、避難誘導、災害防御などを行っています。

災害発生直後の初動期における地域住民相互の助け合い、人命救助や初期消火への努力が被害の軽減につながるため、消防団は迅速に現場に駆けつけ対応を行います。



火災予防・広報活動

始式のパレードや、学校や管轄内での広報活動を行い、地域の防災意識の向上を目指しています。学校では、そもそも消防団とは何かから伝え、地域における重要性を広報しています。

また、冬に行う夜警巡視などにより、火災予防の啓もう活動を行っています。



消防団員募集中！

あなたも消防団員として地域に貢献しませんか？消防団に興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

総務課 生活安全係 ☎26-2022



高鍋町消防団団長
矢野 博彦さん

団長の矢野さんに話を聞きました

消防団員は火災だけでなく、地震や風水害などの大規模災害、行方不明者の捜索などにも出動し、平時には、火災予防の広報活動や地域の防災訓練に参加するなど、その活動は多岐にわたります。これらの活動を将来にわたって続けていくには、団員が活動しやすい環境を作ることと、新しい仲間の入団が必要です。

これから何かをしたいという方は、地域の安全・安心の守り手として、ぜひ消防団に加入してください。

宝くじ公式サイトで
宝くじを購入できる
ようになりました！

宝くじ公式サイトはコチラから



お得な特典、便利なサービスいろいろ！宝くじ公式サイト会員登録ステップ

STEP1

「宝くじ公式サイト」を検索し、メールアドレスの登録（仮登録）

「宝くじ公式サイト」を検索して、宝くじ公式サイトの新規会員登録ページでメールアドレスを登録（仮登録）します。

STEP2

会員情報の入力（会員登録）

① 入力いただいたメールアドレス宛に、メールが届きます。
② メールに記載されている会員登録用のURLをクリックします。
③ 画面に於いて、氏名や生年月日の情報を入力いただくことで新規会員登録が完了します。
宝くじ公式サイトでポイントが貯まる／つかうための準備は以上で完了
宝くじ公式サイトでポイントが貯まる／つかうための準備は以上で完了
宝くじ公式サイトでポイントが貯まる／つかうための準備は以上で完了



STEP3

決済情報の入力

ネット購入をご利用される方は、宝くじを購入するための「クレジットカード情報」および「口座振替」の登録が必要です。
「口座振替」をご登録ください。
以上で、カンタン・便利なくじの「ネット購入」がご利用いただけるようになります！

本件に関するお問い合わせ先 宝くじコールセンター TEL 0570-01-1192（ナビダイヤル 有料） TEL 011-330-0777（有料）
受付時間 10:00～19:30（土・日・祝日、年末年始を除く）※電話番号は十分にご確認ください。おかけ間違いのないようご注意ください。

今年度の消防団の皆さんを御紹介します



今年度は243人の消防団員が在籍し、地域に密着した活動を行っています。

表彰

3月3日、高鍋町消防団の古賀直樹副団長が日本消防協会定例表彰（精積章）を受章しました。また、3月4日、矢野博彦団長が消防庁長官表彰（永年勤続功労章）を受章しました。

3月の宮崎県消防大会の表彰伝達式で表彰される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて伝達式は中止になりました。

副団長の古賀さんに話を聞きました

この度は、このような賞をいただけて大変光栄に思います。消防団に入団して20年が経過し、これまで数多くの火災や水害などに出勤してきました。今年の4月からは副団長に任命され、その職責の重さを痛感しているところです。



高鍋町消防団副団長
古賀 直樹さん

今回の受賞を励みにながらも、決して満足することなく、今後より一層精進していきたいと思っています。

女性消防団員も活躍しています

全国的に消防団員数が減少する一方で、女性消防団員数は年々増加しており、女性消防団員を採用する消防団は全都道府県に広がっています。住宅用火災警報器の普及促進、一人暮らしの高齢者宅の防火訪問、住民に対する防災教育及び応急手当の普及指導などにおいては、特に女性消防団員の活躍が期待されています。

町では、平成30年度に初めて女性部が結成され、広報活動を中心に消防団活動を行っています。



◀女性部の発行する広報紙「消防団たかなべ」

女性部部長の平田さんに話を聞きました

平成30年4月に女性部が発足し、現在6名で活動しています。主に広報啓発活動や式典の運営補助を行っています。

特に、広報分野では団独自の広報紙「消防団たかなべ」を創刊したり、SNSを活用した情報発信を行ったりするなど、住民の方々と消防団を繋ぐ一つの架け橋になれるよう力を入れて活動しています！



高鍋町消防団女性部部長
平田 いくみさん

地域防災マネージャーコラム☆Vol.★10

『新型コロナウイルス感染症』

新型コロナウイルス感染症が猛威を振っています。防災マネージャーとは関係ないのでは？と思われるかもしれませんが、しかし、私は「危機管理専門員」です。持っている資格も「防災士」と「総合危機管理士（総合危機管理アドバイザー）」です。今この危機に、黙って見ているわけにはいきません。

「正常性バイアス」について、防災マネージャーコラムの第1号に書きました。正常性バイアスとは、被害が予想される状況でも「今回は大丈夫」と過小評価してしまう特性のことです。今回の新型コロナウイルス感染症についても、この「正常性バイアス」が働いてしまっている事例が散見されます。自分は被災しないだろう。ここまで津波は来ないだろう。自分の周りを見ると避難している人がいない。その結果…。まさに、今まで起こってきた災害と同じです。

自分は感染しないだろう。感染しても軽症で済むだろう。自分の周りを見ると感染している人がいない…。「防災意識」ならぬ「防(感)染意識」を、高いレベルで持ちましょう。



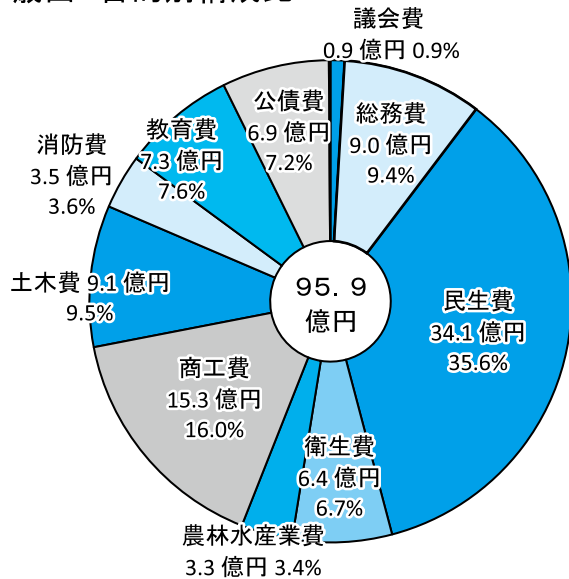
地域防災マネージャー 織田 範之

令和2年度 高鍋町一般会計当初予算 95億9,800万円

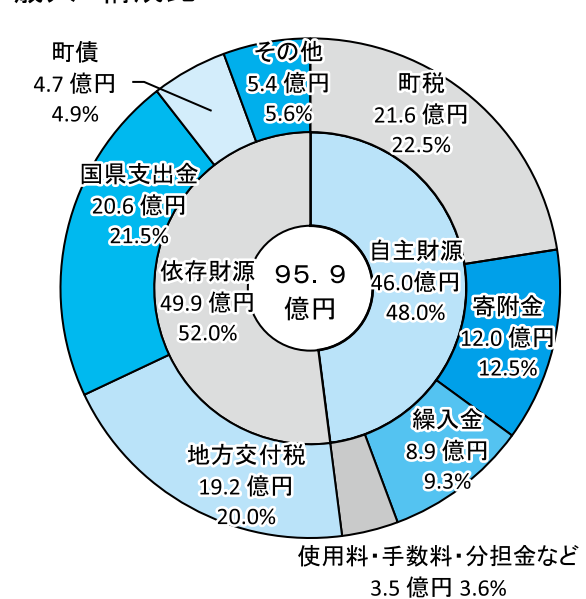
令和2年度高鍋町一般会計当初予算は、第6次総合計画「高鍋みらい戦略」及び施政方針に掲げる「豊かで美しい歴史と文教の城下町 たかなべの再生」の取り組みに重点をおいた予算編成を行い、新規事業に公共施設個別施設計画策定事業、スクールソーシャルワーカー配置事業、移住定住サイト作成事業、避難行動要支援者管理システム導入事業、肉用牛生産基盤強化促進補助事業、空き家店舗等活用賑わい創出支援補助事業などを計上しました。

予算規模は、工業用地造成事業関連経費が大幅に減ったほか、教育環境改善工事の完了などによる減少があったものの、会計年度任用職員制度の影響による人件費の増、防衛施設周辺道路改修等事業による道路改修事業費の増などにより、総額95億9,800万円、前年度比2億5,500万円の増額となりました。

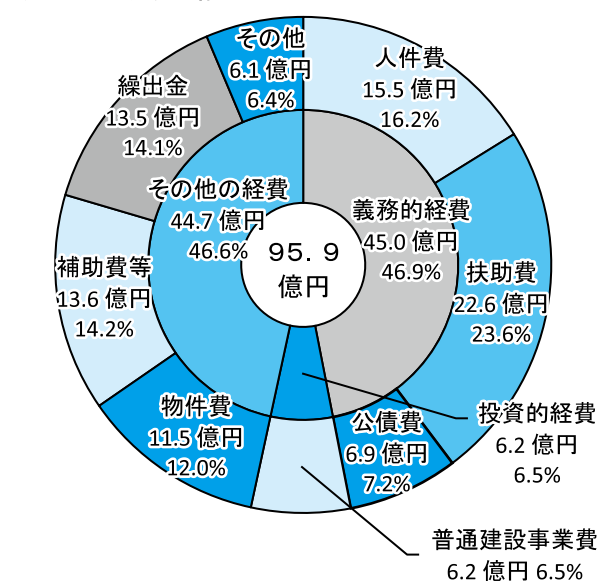
歳出 目的別構成比



歳入 構成比



歳出 性質別構成比



自主財源…町が自らの権限や財産等により得る収入
依存財源…国・県などから交付されたり、借りたりして得られる収入

※ () 内は、前年度当初との比較

一般会計	95億9,800万円	(2.7%)
特別会計	57億9,116万9千円	(△5.7%)
国民健康保険	26億2,436万5千円	(△5.4%)
後期高齢者医療	5億3,128万1千円	(4.6%)
下水道事業	3億6,155万9千円	(△2.1%)
介護保険	19億9,786万8千円	(4.5%)
介護認定審査会	1,033万9千円	(0.1%)
一ツ瀬川雑用水管理事業	1,720万5千円	(1.2%)
西都児湯固定資産評価審査委員会	40万円	(18.3%)
工業用地造成事業	2億4,815万2千円	(△54.7%)
一般・特別会計 合計	153億8,916万9千円	(△0.6%)

義務的経費…支出が義務付けられ任意に削減することが困難な経費
投資的経費…施設や道路のインフラ整備など、資産が将来に残るもの
その他の経費…上記以外の行政活動のために必要な経費

※グラフの数値は、四捨五入など端数調整のため計数が一致しない箇所があります。

水道事業	収益的収入	5億4,005万円	(14.0%)
	収益的支出	4億6,972万2千円	(0.8%)
	資本的収入	9,000万3千円	(80.0%)
	資本的支出	3億6,150万6千円	(25.4%)

令和2年度に実施する主な事業について新規事業を中心に紹介します

※事業費は万単位で四捨五入しています。

【総務費】

新	移住定住サイト作成事業	201万円
	高鍋町に移住・定住してもらうため、県補助事業を活用して、高鍋町をPRするサイトを作成します。	
新	公共施設個別施設計画策定事業	100万円
	公共施設の将来に向けた維持管理や整備の計画を策定し、効率的な運営を行います。	

新	クラウドファンディング補助金	60万円
	クラウドファンディングの目標を達成した事業に対して、手数料を補助します。	
	国勢調査	1,121万円
	5年ごとに行われる国勢調査に係る経費です。	

【民生費】

	施設等利用給付事業	426万円
	幼児教育の無償化により、認定こども園の預かり保育事業などの利用料を負担します。	
新	避難行動要支援者管理システム導入事業	103万円
	災害発生時に避難の支援が必要な方を把握するシステムを導入するための経費です。	

	子ども・ひとり親家庭医療費助成事業	8,688万円
	中学生以下の子どもに係る医療費の無料化等に要する費用です。	
新	地域生活支援拠点ニーズ把握調査	109万円
	地域生活支援拠点の整備を図るため、地域における障がい者の各種ニーズや課題等を把握するための調査の経費です。	

【衛生費】

	唐木戸霊園整備改良工事	330万円
	唐木戸霊園の舗装、水路工事、柵の設置等の整備を行う経費です。	

	予防接種事業	5,508万円
	乳幼児、小中高生及び高齢者に対して定期予防接種及び任意予防接種を実施するための経費です。	

【農林水産業費】

新	肉用牛生産基盤強化促進事業	264万円
	肉用牛の繁殖基盤の拡大を図るため、優良雌牛・肥育素牛導入、高齢母牛の更新に対して、費用の一部を助成します。	

	森林整備意向調査	308万円
	森林の適切な管理を図るため創設された森林経営管理制度の導入に向け、森林所有者等のデータ収集を行う経費です。	

【商工費】

新	新商品開発支援事業	60万円
	高鍋町の魅力をPRするため、地場産品を活用した新商品開発を支援します。	

	ふるさと納税推進事業	12億円
	ふるさと納税の寄附者へ贈る返礼品の代金や送料などの経費のほか、寄附金の一部を基金に積み立てる費用です。	

【土木費】

	建築物耐震改修等事業	632万円
	地震発生の際に倒壊の恐れがある住宅の耐震診断や耐震改修等に係る経費の一部を助成します。	

	防衛施設周辺道路改修等事業	1億7,142万円
	防衛省補助を活用して、生活道路の改良など安全で快適な道路環境整備を実施します。	

【消防費】

新	消防車購入	450万円
	老朽化した消防車の買い替えを行います。	

	防災行政無線戸別受信機購入	462万円
	津波浸水区域や土砂災害警戒区域に指定されている世帯等に無償貸与する戸別受信機を購入します。	

【教育費】

新	スクールソーシャルワーカー配置事業	145万円
	児童・生徒が生活の中で抱えている様々な問題の解決を図るため、スクールソーシャルワーカーを配置します。	
	国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭高鍋町実行委員会負担金	95万円
	今年度宮崎で開催される国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭の高鍋町開催イベントの負担金です。	

新	校務支援システム共同調達構築事業	130万円
	教職員が行う校務を効率的に遂行し、教育活動の質をより向上させるため、校務支援システムの構築を行います。	
新	町内埋蔵文化財活用事業	231万円
	国補助事業を活用して、出土遺物等の再整理を行い、それら出土遺物の企画展示と関連講座を行います。	

就任のごあいさつ



しまのうち まこと
島埜内 遵
副町長

このたび、4月1日付けをもって副町長に就任いたしました、島埜内遵でございます。

県内中学校10校、町教育委員会、町社会教育施設の勤務の後、町行政に携われますことは、大きな喜びであるとともに職責の重大さに身の引き締まる思いであります。

高鍋町は「歴史と文教の町」の言葉とおり、明倫堂の教えを教育、福祉、文化、農業、商業などあらゆるところで垣間見ることが出来る魅力あるコンパクトシティです。この魅力をさらに高め、町民の皆様が日常会話の中で「高鍋はいい町だね」「役場の職員はいいよね」と言っていただけのようなまちづくり、役場づくりに取り組むことが私の役割と思っております。

もとより微力ではありますが、副町長として黒木町長を支えるとともに、高鍋町のさらなる発展、そして町民の皆様の幸のため、職員とともに努力する所存であります。どうぞご指導・ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。「動き出せば景色が変わる」をモットーに頑張ります。

退任のごあいさつ



こだま よういち
児玉 洋一
前副町長

このたび、3月31日付けをもって副町長の職を退任いたしました、児玉洋一でございます。

県庁から高鍋町に赴任した頃は、知らないこと、慣れないことが多く毎日苦労の連続だったように記憶していますが、3年間でそんな苦労はすっかり無くなったように思います。これもひとえに町民の皆様のおかげとご理解とご指導のたまものと深く感謝申し上げます。

就任以来、黒木町長の強いリーダーシップのもと役場職員の働きやすい環境づくりに注力することが、ひいては町民の皆様が高鍋に住んで良かったと思えるまちづくりに繋がると信じてまいりました。また、そのために町議会議員の方々と活発な議論もさせていただきました。お陰をもちまして、充実した3年間を送ることができましたし、私自身大きく成長させていただいたと感じております。今後は、あらゆる面で成長の可能性を秘めた高鍋町を県職員の立場から見守り、応援してまいる所存であります。

終わりに、高鍋町の発展と皆様のなご一層のご健勝・ご多幸を祈念申し上げ、退任のごあいさつとさせていただきます。

黒柳徹子さんが石井十次賞を受賞

3月25日、公益財団法人石井十次顕彰会が、第29回石井十次賞に俳優タレントの黒柳徹子さんが選ばれたと発表しました。

黒柳さんは、1981年に出版されてベストセラーとなった著書「窓ぎわのトットちゃん」の印税を元に、社会福祉法人トット基金を設立しました。このトット基金は、ろう者劇団活動や聴覚障がいのある方の就労支援、手話教室などを行っています。

また、1984年にアジアで初めて国連児童基金（ユニセフ）親善大使に選ばれ、今日に至るまでタンザニアやアフガニスタン、レバノンなど、延べ39カ国を自ら訪問して子どもたちや立場の弱い人々の救援活動を続け、飢えや疫病に苦しむ世界の子どもたちの窮状を各種メディアを通じて伝えてきました。

受賞を受けて、黒柳さんは「今回の受賞を心からうれしく思っています。石井十次さんは孤児を預かり育てるだけではなく、孤児院を日本で初めて開き、教育もなさった方。今回の私の受賞をきっかけに、石井十次さんをもっと多くの方に知っていただければこれ以上の喜びはありません」と話しました。

第29回石井十次賞贈呈式は4月15日にたかしんホール（高鍋町中央公民館）で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で延期となりました。



▲第29回石井十次賞を受賞した黒柳徹子さん

石井十次賞とは

児童福祉分野で功績のあった個人・団体に贈られる賞です。町の偉人で「孤児の父」と呼ばれる石井十次の精神を受け継ごうと1992年に創設されました。これまでに21団体・8個人が受賞しています。